

安全データシート

作成 2022年 4月 1日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ポリサーブ20B
供給者の会社名称	丸三化学産業株式会社
住所	大阪府中央区農人橋1-1-10
電話番号	06-6809-5703
ファックス番号	06-4790-3300

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

すべて分類できないか、区分に該当しない

GHS ラベル要素

なし

3. 組成, 成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	メタリン酸ナトリウム
化学式	(NaPO ₃) _n
官報公示整理番号	化審法 1-497
CAS No.	10124-56-8

4. 応急措置

吸入した場合

- 1.直ちに新鮮な空気のある場所へ移動する。
- 2.必要に応じて人工呼吸を施す。
- 3.医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

1. 石鹼又は刺激の少ない洗剤と多量の水でこの物質を除去するまで洗浄する（最低 15～20 分間）。
2. 必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合

- 1.直ちに大量の水で洗眼し、この物質を除去するまで適宜まばたきを続ける。
- 2.直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

1. 大量に飲み込んだ場合は、安静にし、多量の微温水（又は牛乳）を飲ませて嘔吐させる。
2. 被災者に意識のない場合は、吐かせたり飲ませたりしてはならない。
3. 被災者に意識のない場合は、仰向けにしてはならない。
4. 直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、二酸化炭素消火剤、粉末消火剤、泡消火剤等。本品の火災危険性は無いに等しい。

使ってはならない消火剤

情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具（保護手袋、保護服、保護眼鏡）を着用する

環境に対する注意事項

物質が排水路・水路に流入することを防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集め適切な廃棄容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1. 目、皮膚、衣服への接触を避ける。材質的にはガラス質なので、衝撃等により割れた破片は鋭利な刃物と同様危険である。
2. 取扱い後に十分洗浄する。

保管

破損、漏れの無い密閉可能な容器で、直射日光を避け乾燥した場所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具

1. 局所換気。
2. 安全ゴーグル。
3. 洗眼器。
4. 安全シャワー。
5. 保護衣。

6.保護手袋。

7.呼吸用保護具。

9.物理的及び化学的性質

物理状態、色	白色～無色透明な塊状。
臭い	情報なし
融点／凝固点	約 628℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	約 6.6 (1%)
動粘性率	情報なし
溶解度	溶解速度は非常に小さいが、時間をかければ高濃度に溶解する。ただし、一定濃度の溶解度は無い。
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	情報なし
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

10.安定性及び反応性

反応性	通常取り扱い条件下では反応しない
化学的安定性	通常取り扱い条件下では安定である
危険有害性反応可能性	通常取り扱い条件下では危険な反応は起こらない
避けるべき条件	特になし
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	情報なし

11.有害性情報

急性毒性 (メタリン酸ナトリウム)	区分に該当しない
ラット	経口 LD ₅₀ 7,100 mg/kg
マウス	経口 LD ₅₀ 7,250 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	データなし、分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし、分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性 データなし、分類できない
生殖細胞変異原性 データなし、分類できない
発がん性 データなし、分類できない
生殖毒性 データなし、分類できない
特定標的臓器毒性, 単回ばく露 データなし、分類できない
特定標的臓器毒性, 反復ばく露 データなし、分類できない
誤えん有害性 データなし、分類できない

12.環境影響情報

生態毒性	情報無し
残留性・分解性	情報無し
生体蓄積性	情報無し
土壌中の移動性	情報無し
オゾン層有害性	情報無し

13.廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄については関連法規制並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

該当しない

15.適用法令

建築物における衛生的環境の確保に関する法律

16.その他の情報

引用文献

第7版食品添加物公定書解説書（廣川書店）
15710の化学商品（化学工業日報社）
化学品のGHS対応SDSをつくる本（丸善出版）

この安全データシートは、JIS Z 7252:2019, JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成されているが、必ずしも十分ではない可能性がある。このため本製品の取り扱いには十分に注意が必要である。この安全データシートの記載内容については、法令の改正及び新しい知見等に基づき改訂が必要となる場合がある。この安全データシートの内容は通常の取り扱いを対象としたものであるため、特別な取り扱いをする場合には、用途や条件に適した安全対策等を実施することが必要である。